

28. 福岡県てんかん地域診療連携体制整備事業 2022 年度活動報告

福岡県てんかん治療医療連携協議会委員長
九州大学病院 脳神経内科
重藤寛史

1. 概要

てんかん地域診療連携整備事業における福岡県のてんかん支援拠点機関を九州大学病院とする契約が2023年1月4日に福岡県と九州大学病院の間で締結した。1月23日に福岡県におけるてんかん支援拠点病院として九州大学病院が選定された。同日、福岡県てんかん治療医療連携協議会要綱に基づき第1回福岡県てんかん治療医療連携協議会を開催した。1月27日にプレスリリースを行い、NHK および民法のテレビニュースで放映された。2月8日に第1回福岡県てんかん支援拠点病院研修会を行った。報告書作成時時点で、ホームページ、リーフレット作成中である。来年度の活動予定に関して、福岡県てんかん治療医療連携協議会委員の中で3月初旬に第2回福岡県てんかん治療医療連携協議会として書面回議にて検討した。

2. 福岡県のてんかん診療体制

1) 九州大学病院のてんかん支援拠点病院としてのてんかん診療体制

日本てんかん学会認定の包括的てんかん専門医療施設として、小児科、脳神経内科、脳神経外科、精神科神経科の各診療科医師、看護師、検査技師、薬剤師、精神保健福祉士、てんかん診療支援コーディネーター、連携医療担当事務員がてんかん医療運営委員会を組織し、年3回のてんかん医療運営委員会および月1回の合同てんかんカンファレンスを開催している。「てんかん診療支援コーディネーター」を中心に、移行期医療および福祉相談を行っている。

2) 福岡県てんかん治療医療連携協議会

福岡県てんかん治療医療連携協議会要綱（添付資料1）を基に、てんかん協会、県こころの健康づくり推進室、各地域の精神保健福祉センター長、各地域のてんかん専門医からなる「福岡県てんかん治療医療連携協議会」を設置した（添付資料2）。今後、県内のてんかん医療の均てん化を推進していく。

3. 活動状況

1) 第1回 福岡県てんかん治療医療連携協議会

1月23日、第1回 福岡県てんかん治療医療連携協議会（WEB）を開催し、事業の目的および協議会の業務が報告され、今後てんかん治療医療連携協議会で行うべきことが議論された。てんかん協会からは、これまで患者からの相談受付業務、てんかん啓発活動、てんかんに関する勉強会が行われてきたことが紹介された。相談業務に関して、今後、拠点病院と月1回は共有していきたいとの希望があった。来年度の活動予

定に関して、3月初旬に第2回福岡県てんかん治療医療連携協議会として書面回議にて検討した。

2) プレスリリース

1月28日、福岡県のマスコミに対してプレスリリースを行い、NHK、RKBなど地元テレビニュースにて九州大学病院がてんかん支援拠点病院に指定されたことが伝えられた。



2023年1月28日 RKB ニュース (YouTube より <https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/298342?display=1>)



2023年1月30日 NHK ニュース (YouTube より <https://www3.nhk.or.jp/fukuoka-news/20230130/5010019046.html>)

3) 第1回福岡県てんかん支援拠点病院研修会 (添付資料3)

2月9日、第1回福岡県てんかん支援拠点病院研修会と第4回福岡県難病診療連携拠点病院研修会の合同WEBセミナーを開催した。難病に指定されている結節性硬化症に

合併するてんかんに関して、内科的立場から福岡山王病院脳神経内科 上原 平 副部長、外科的立場から飯塚病院脳神経外科 迎 伸孝 診療部長の講演があり、165名（うちオンデマンド視聴80名）の参加があった（添付資料3）。

4) 九州大学病院ニュース
校正済み。今後掲載予定

5) てんかん協会福岡県支部ニュース「さざなみ」の特集として掲載
(添付資料4)

2. 今後の予定

1) ホームページ 作成中

2) リーフレット 作成中

3) 院内に事務拠点、専用電話を設置し、専属の事務員を雇用する予定。

4) 来年度の活動予定に関しては、てんかん支援拠点病院が中心となって計画し、福岡県てんかん治療医療連携協議会委員の中で検討した。委員が協力できる事業として

① 精神福祉センター、保険福祉事務所、市町村との連携

下川先生（脳外科）

② 精神科病院等へ出張講習

下川先生（脳外科）

楯林先生（県精神保健福祉センター）ご助言：医師会、精神科病院協会を介して周知、募集することが必要

③ 精神科・心療内科等の病院、診療所を対象とした研修会

下川先生（脳外科）、石井先生（小児科）

林先生（県精神保健福祉センター）ご助言：精神科診療所協会を介して周知、募集することが必要。ただし診療所に関しては、診療所協会、医師会、精神科病院協会にも属していないところが多数存在。県内の診療所の住所・電話番号の情報は存在する。

④ てんかん患者、家族及び行政職員を対象としたてんかんに関する講演会

下川先生（脳外科）、石井先生（小児科）

⑤ 出張講習や研修会開催の周知を県医師会や県精神科病院協会、市町村等へ依頼

福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室

5) てんかん治療医療連携協議会委員の増員

てんかん協会福岡支部会長、地域の精神科、小児科、脳神経内科、脳神経外科医師の委員を増員する。

添付資料1 福岡県てんかん治療医療連携協議会設置要綱

(設置)

第1条 てんかん地域診療連携体制整備事業実施要綱（平成27年5月28日障発0528第1号厚生労働省社会・援護局障害・保健福祉部長通知）に基づき、福岡県てんかん治療医療連携協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(業務)

第2条 協議会は、次の業務を行う。

- (1) てんかんに関する現状の問題点の抽出
- (2) 福岡県てんかん支援拠点病院（以下「拠点病院」という。）における事業計画の策定
- (3) 事業効果の検証
- (4) 以下の事項を含めた指標の設定
 - ①拠点機関における相談件数（相談者の属性・相談内容・相談方法別（訪問・電話・メール等））
 - ②患者数（性・年齢別、疾病の属性別、外来・入院別）
 - ③治療期間（治療終了、治療中、治療中断別）

(組織)

第3条 協議会の委員は、以下の者とする。

- (1) てんかん治療を専門的に行っている医師 4名程度
- (2) 福岡県職員 1名程度
- (3) 精神保健福祉センター 3名程度
- (4) てんかん患者及びその家族 1名程度

※てんかん対策に資するものとして、必要に応じ、上記以外の者を加えても差し支えない。

2 会長は、委員の中から互選する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(任期)

第4条 委員の任期は、就任した年度の翌年度末日までとする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 協議会は必要に応じて開催できるものとする。

(事務局)

第6条 協議会の事務局は拠点病院とする。

(補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って決定する。

附 則

この要綱は、令和5年1月4日から施行する。

添付資料2 福岡県てんかん治療医療連携協議会

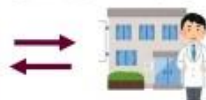
九州大学病院	重藤寛史 保健学部門教授 磯部紀子 脳神経内科科長 下川能史 脳神経外科助教
久留米大学病院	本岡大道 精神神経科准教授
北九州総合病院	石井雅宏 小児科部長
福岡県精神保健福祉センター	楯林英晴 センター長
福岡市精神保健福祉センター	川口貴子 センター長
北九州市立精神保健福祉センター	藤田浩介 センター長
福岡県保健医療介護部健康増進課 こころの健康づくり推進室	猪股祐子 室長 中川洸平 小迫基央
てんかん協会	岡本 朗 常任理事

医療者向け2部門合同WEBセミナー

第4回 福岡県難病診療連携拠点病院研修会

第1回 福岡県てんかん支援拠点病院研修会

今回の研修会は、難病診療連携拠点病院とてんかん支援拠点病院が合同で行います。指定難病のうち、てんかんの症状がみられる疾患を取り上げ、診断や治療の情報提供、医療連携や調整の構築を目的とします。



日時 2023年2月8日(水) 19:00 ~ 20:15

Web入室18:30 ~

参加者 福岡県内の難病・てんかん診療にあたる医師、歯科医師ならびに医療従事者
(事前予約者先着290名まで)

オンデマンド配信 2023年2月13日(月) ~ 3月5日(月)

*オンデマンド配信はすべてのお申込み者が閲覧可能です。

参加申し込み締切 2023年1月31日(火) まで

*福岡県医師会会員の方へ

第1回福岡県てんかん支援拠点病院研修会では日本医師会生涯教育講座合計「1単位」取得できます。

プログラム

- 挨拶
- 「福岡県難病ネットワーク事業」の紹介
- 「てんかん支援拠点病院」の紹介

テーマ「結節性硬化症の診断と最新の治療」

講演1「結節性硬化症の診断とてんかんの薬物治療」

講演2「結節性硬化症の外科治療」

九州大学病院脳神経内科 科長 教授

磯部 紀子

九州大学病院脳神経内科 診療講師

松瀬 大

九州大学保健学部検査技術科学分野 教授

重藤 寛史

国際医療福祉大学医学部 脳神経内科 准教授

福岡山王病院 脳神経内科 副部長

上原 平

飯塚病院 脳神経外科 診療部長

迎 伸孝

- 申込みフォームまたは二次元コードにアクセスし、必要事項をご入力の上お申し込みください。
申し込み完了メールが届いたら受付完了となります。
- 申込みフォームURL
<https://forms.gle/HziAkpxC3EiweiET8>



お問い合わせ先

九州大学病院

未診断・未指定難病相談支援センター

E-mail: bundiag@jimu.kyushu-u.ac.jp

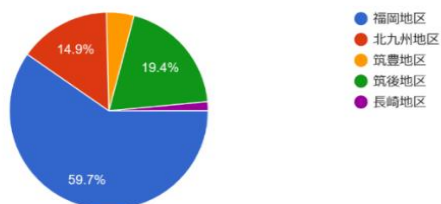
共催：九州大学病院 福岡県難病医療連絡協議会
福岡市医師会

協力：九州大学病院アジア遠隔医療開発センター

第4回福岡県難病診療連携拠点病院研修会・第1回福岡県てんかん支援拠点病院研修会アンケート結果 (n=64)

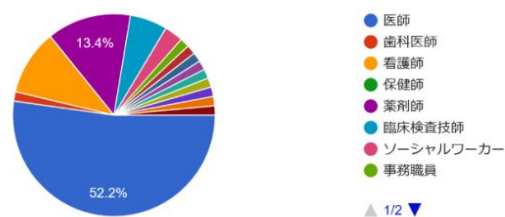
1. 所属する施設の地域はどちらですか？

67件の回答



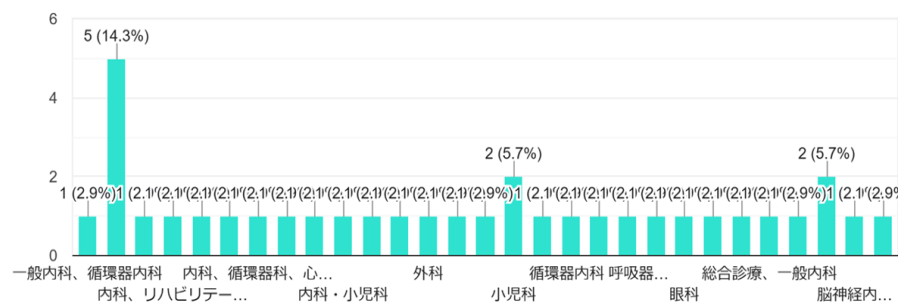
2. ご自身の職業

67件の回答



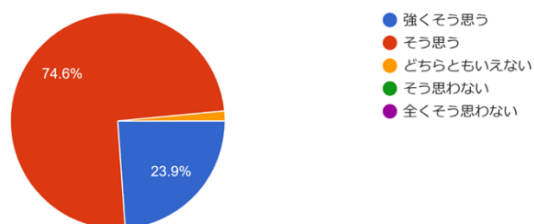
3. 医師、歯科医師の方のみお答えください。専門の診療科目を3つまでご記入ください

35件の回答



4. 難病患者さんの診療等に役立つ内容でしたか？

67件の回答





2023年 3月号

特集:福岡県てんかん支援拠点病院

行事予定	目次
<p>3月 世話人会 日時: 2023年3月5日(日) 13時半~ 会場: 福岡市市民福祉プラザ 402会議室 ~~~~世話人の皆様へ~~~~ 今年度最後の世話人会です 万障お繰り合わせの上ご出席下さい</p>	<p>特集 てんかん支援拠点病院・・・2~4 久留米医療相談会報告・・・5 脳性麻痺、パーキンソン病様症状 とてんかん(黒川徹先生)6~7 投稿コーナー・・・8 事務局より・・・9 立場別グループの案内・・・裏表紙</p> <p>◆◆◆◆お知らせ◆◆◆◆</p>
<p>第44回福岡県支部総会 日時: 2023年4月23日(日) 13時半~ 会場: 福岡市市民福祉プラザ 401会議室</p>	<p>★次号(4月号)は、年度始めにつき、月刊『波』と、支部会報のお届けは、4月第2週以降となります。</p> <p>★請願署名はまだ間に合います。 3月中に事務局までご郵送下さい。</p>
	<p>支部ニュース「さざなみ」は、発行費用の一部を福岡県共同募金会からの補助で発行されています</p>